

# 東京都地域結集型研究開発プログラム フェーズⅢ成果普及 —都市の安全・安心を支える環境浄化技術開発—

地域結集  
ニュース

## とうきょうのそら

2012 No. 6

### 東京都立産業技術研究センター 理事長 片岡正俊 挨拶

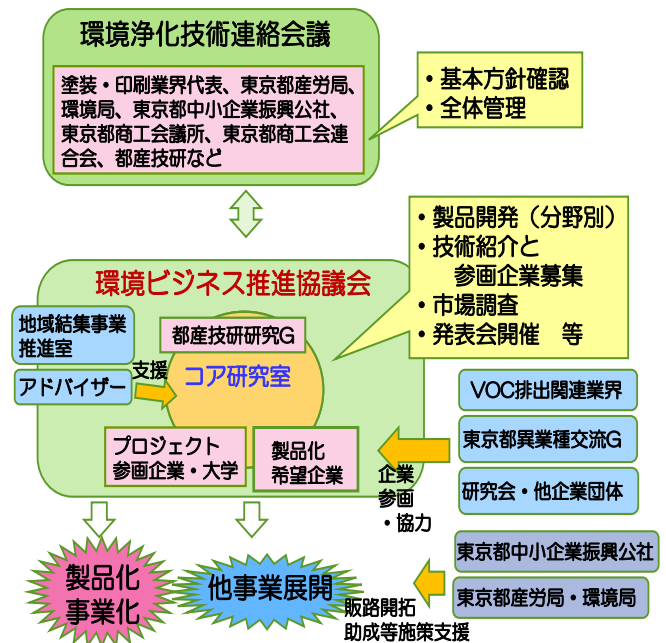


東京都地域結集型研究開発プログラムは、平成 18 年 12 月から 5 年間「都市の安全・安心を支える環境浄化技術開発」をテーマに、東京の課題である「都市環境の改善」と「都市型産業の創出による産業力の強化」を目的に研究開発を実施してきました。本プログラムのため、全部で 7 大学 9 研究室、2 研究機関、1 組合、14 企業（NPO 法人 1 含む）が参画し、積極的な産学公連携のもとで事業を推進しました。実用化、製品化に関しては既に 11 件、他事業への成果展開も 12 件にのぼり、着実に成果展開を進めているところです。本プログラムの実施にあたり、ご指導、ご支援をいただきました（独）科学技術振興機構、ならびに東京都の関係者の皆様に御礼申し上げます。また、参画機関の皆様には本務がありながら時間を割いて多くのご貢献をいただき、深く感謝いたします。さて、研究開発・試作を目的とするフェーズⅡは平成 23 年 11 月に終了し、12 月からは成果普及を目的とするフェーズⅢが、東京都ならびに東京都立産業技術研究センターが中心になり、新たな体制のもとで開始されています。今後とも皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

### フェーズⅢの運営体制

平成 23 年 12 月から、これまでに開発した技術を基に製品化・事業化をめざすフェーズⅢを進めています。関連業界や東京都の産業労働局・環境局、東京都中小企業振興公社などから構成される環境浄化技術連絡会議により、成果普及の基本方針を決めて運営します。

さらに環境浄化技術連絡会議の下に環境ビジネス推進協議会を置き、都産技研や当プログラム参画機関、製品化企業と連携して製品化を進めます。フェーズⅡまでの開発技術は主として都産技研の研究グループが継承し、企業と連携して製品化や他事業への展開を進めていきます。連携する企業については、当プログラム参画機関に加えて、広く都内中小企業に参加を呼びかける予定です。



フェーズⅢの運営体制

## 最終研究成果発表会開催 157名参加



最終研究成果発表会

技術開発や製品化を発表しました。発表会には合計 157 名の方々が参加し、当プログラムの成果を広く普及することが出来ました。会場近くに展示会場を設置し、開発担当者がこれまでの成果を説明しました。

当プログラムのフェーズⅡの終了を前に、平成 23 年 10 月 6 日、東京都立産業技術研究センター本部で最終研究成果発表会が開催されました。当日は科学技術振興機構(JST)の小原専務理事と東京都の前田産労局長にご来賓の挨拶を頂いた後、参画機関の担当者により開発成果が発表されました。本年度は特に製品化に重点を置き、VOC バイオセンサ、PID、VOC 排出対策ガイド、スーパーマイクロポラスシリカ、塗装乾燥炉用 VOC 処理装置、VOC 分解触媒について技

## 第一回環境浄化技術連絡会議開催 フェーズⅢの基本方針の確認



第一回環境浄化技術連絡会議

第一回環境浄化技術連絡会議が平成 24 年 1 月 23 日に都産技研本部で開催されました。都産技研の片岡理事長が当会議の議長に任命されています。当日は、東京都産労局の河内商工部長の他、7 人の委員が出席し、VOC 削減技術の製品化について討議し、フェーズⅢにおいては、製品化目標年度を示して事業を進めることを確認しました。また、当会議の下に事業運営会議をおき、早期に対処が必要な課題は事業運営会議で対応することとしました。

## VOC 排出対策ガイド公開中

基礎から実践・評価法までを網羅した「VOC 排出対策ガイド」を公開しています。是非ご活用下さい。皆様からのご意見、ご要望、ご感想もお待ちしています。

本ガイドのアドレスは、<http://create.iri-tokyo.jp/> です。

### 地域結集ニュース

## とっきょうのぞら

2012 No.6

発行日:平成 24 年 4 月 19 日

企画・編集・発行: 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター  
地域結集事業推進室 小坂幸夫、白鳥節

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10 TEL 03-5530-2558

(複製・転載等をご希望の際には上記までご連絡ください。)